

香川大:台湾・国立屏東大学と学術交流協定を締結

令和7年3月17日(月)、経済学部原直行副学長が台湾の国立屏東大学を訪問し、本学と同大学との間で「学術交流協定」および「学術交流に関する実施細則」の調印式を執り行いました。

国立屏東大学は、2014年8月1日に「国立屏東教育大学」と「国立屏東商業技術学院」が統合されて設立された国立大学です。

今回の協定締結により、経済学部を中心とした本学の関係部局では、学生の交流に加え、教員・研究者との交流や共同研究の実施など、幅広い学術的連携が進められていきます。特に、観光分野や地方創生・まちづくりにおいては、研究交流の深化が期待されています。

25.03.17



香川大学

香川大学 :: 国立屏東大学と学術交...

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/news/23-2/33034/>

「観光かがわ食の多様性に向けた協議会」が設置 外国人観光客の食の多様性に対応へ ベジタリアンやヴィーガンなど

25.03.19

ベジタリアンやヴィーガン、ムスリムなど、香川県を訪れる外国人観光客の食の多様性に対応しようと、協議会が設置されました。新たに設置されたのは、「観光かがわ食の多様性に向けた協議会」です。香川県内のホテルや旅館、飲食店など16の事業者が参加します。

観光庁の推計では、訪日旅行者の約5%がベジタリアンとヴィーガンで、香川への来県が最も多い台湾でもベジタリアンなどの割合が高いとされています。協議会は、様々な食への対応で香川を訪れやすくすることが狙いです。

(観光かがわ食の多様性に向けた協議会 三矢昌洋会長)

「香川への旅行で自然や文化の魅力を満喫していただくとともに、食事でも安心して楽しんでいただけることを発信していけば」協議会では、今後セミナーを開くなどして、食の多様性に対応できる事業者を増やしていきたいとしています。



TBS NEWS DIG

「観光かがわ食の多様性に向けた協議会」 ...

<https://newsdig.tbs.co.jp/articles/rsk/1798225>

香川大：JICAメキシコ人研修生が学長表敬訪問

25.05.28

2025年5月28日（水）、JICA日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修「起業とイノベーション・エコシステム形成」（創造工学部教授平見尚隆 採択）へ参加するため来日したメキシコ人研修生5名が本学上田学長を表敬訪問しました。

本研修は、2025年5月から12月までの約7か月間、創造工学部造形・メディアデザインコースの平見研究室に所属しながら、学内での活動にとどまらず、香川県内外における現地での実践的な研修も積極的に行う内容となっています。

研修生の皆さんにとって、本研修が異文化の中での挑戦と成長の貴重な機会となり、将来にわたる国際的なネットワークの礎となることが期待されます。



香川大学

香川大学 :: JICAメキシコ人研修生の学長表...

<https://www.kagawa-u.ac.jp/kuio/news/23-21/33215/>

クリエアナブキ×百十四銀行×JETRO香川： 外国人材雇用セミナー

25.06.13

クリエアナブキは、2025年7月16日に株式会社百十四銀行(本店：香川県高松市／頭取：森 匡史)と独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ)香川貿易情報センターとの共催にて、地域企業を対象に、外国人材の受入と定着や外国人活用の必要性について理解を深めるためのセミナーを開催します。

地域企業の多くが人手不足という大きな課題の中、外国人材は地域産業を支える重要な担い手として注目されている一方で、在留資格制度の複雑さや職場・生活環境の整備など、受け入れ企業にとってはさまざまなハードルがあるのも事実です。

そこで今回、外国人材の雇用を検討中、またはすでに雇用している地域企業の皆さまを対象に、外国人材の活躍を支援するジェトロ香川と、地域社会への貢献をめざす百十四銀行とクリエアナブキの共催で、外国人材の受け入れと定着に役立つ実践的なセミナーを開催することとなりました。。

参加費無料 オンライン参加も可

2025年7月16日(水)
15:00 ~ 16:30

高度・外国人材活用

優秀な外国人材を社員に！ 採用に向けた第一歩

- ✓ これから外国人材を社員として採用していきたい方向けに、外国人材採用に向けたポイントを分かりやすく解説します。
- ✓ セミナー後半では、日本企業で働くポイントや課題を外国人社員による視点でお届けします。

セミナー内容

- 第1部** 外国人材採用に向けて考慮すべきポイント
独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 神戸貿易情報センター
高度外国人材活躍推進コーディネーター 清水一憲氏
- 第2部** パネルディスカッション：外国人社員から見た日本企業
独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 神戸貿易情報センター
高度外国人材活躍推進コーディネーター 清水一憲氏
株式会社クリエアナブキ 海外人材事業グループ 幾田 舞氏
メティシヤ・ムティアラ・シャムシル氏
株式会社百十四銀行 海外進出支援チーム ブイー・マン・クオン氏
- 第3部** 外国人材採用関連サービス紹介
独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) 香川貿易情報センター
株式会社百十四銀行 コンサルティング部

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000053.000030286.html>

香川県:外国人介護人材受入促進事業(補助金)

25.06.13

県は、海外での人材確保や受入環境整備に係る費用を補助する『受入促進事業』の募集を公表。

提出期間は6/24～7/4で、要綱に基づき申請する。

現地情報収集や連携構築、広報等の費用が対象。

併せて研修支援・雇用支援等の関連事業も案内。

応募多数で予算上限超の見込みが記載された。

相談は担当(介護・福祉課)へ電話で受付。

介護分野の採用と定着を後押しする施策だ。



クリエアナブキ:『留学生就活サポート』 中四国で開始

25.06.20

クリエアナブキは、このたび人材紹介サービスの一環として「クリエアナブキの留学生就活サポート」を開始いたしました。

外国人就労における都市圏と地方の差

日本で働く外国人は年々増加しており、単なる労働力の補填にとどまらない役割への期待から、都市圏では専門的・技術的分野の在留資格で働く外国人が増加しています。一方地方においては人手不足の激しい分野を中心に外国人の雇用が増加していますが、専門的・技術的分野での採用には積極的ではない傾向がみられます。

外国人留学生の就職状況

外国人留学生は、就活のスタート時期が遅く、インターンへの不参加、企業の受け入れ体制・情報発信の不足といった課題に直面しており、就職活動が難航しがちです。さらに、大手企業や国内にある日系以外の企業を希望する割合が高く、情報の少ない地方企業への就職は進んでいない傾向があります。また、2025年卒の留学生の内定率は49.3%と、同時期の日本人学生の内定率89.7%に比べ、依然として低い水準にとどまっています。

縮む地方、進む外国人への労働依存 人材流出を懸念し定着へ予算確保も

2025.09.30

地方でも外国人を見かけることが珍しくなくなった。記者は、イスラム教徒が多く住み、モスクがある香川県坂出市を訪ねた。人口は約4万9000人。瀬戸大橋の四国側の玄関口で、沿岸部は工業地帯、内陸に住宅街と田畑が広がる。65歳以上の人口は約35%で、20年前から10ポイント増えた。2021年にインドネシア人が開設したモスクに向かい、そこで出会った同国籍のムハンマド・スクリさん（29）に話を聞いた。話を聞いた外国人たちは勤務先に溶け込んでいた。一方で、「もっと地域の人と話したい」という声も多かった。日本語を学べる場所が少ないため、語学はオンラインが多く、職場以外で直接日本人と交流する機会をほしがっていた。



自宅前でインドネシア人の同居人らと談笑するスクリさん
(左から2人目) (香川県坂出市で)

「坂出で暮らす わたしのストーリー」 外国人24人の思いを紹介

2025.08.26

香川県坂出市に暮らす外国人の思いや市内のお気に入りスポットなどを紹介するパネル展「坂出で暮らす わたしのストーリー」が25日、坂出市役所の1階市民ロビーで始まった。市の地域おこし協力隊の竹内空さん（28）が、外国人を身近に感じてもらい、多文化共生につなげようと初めて企画した。パネル展には、公募に応じたスリランカ、モンゴル、中国など9カ国出身の24人が、写真やイラストを交え、習いたての日本語で、A3判の紙に思いを手書きしている。多くは20代で、坂出に来て1年未満から3年という。市内の日本語学校で学ぶ留学生が多いが、技能実習生もいる。



坂出に暮らす外国人のお気に入りスポットなどを紹介したパネル展=2025年8月25日午前11時9分、香川県坂出市室町2丁目、福家司撮影 

出典：<https://www.asahi.com/articles/AST8T3WBNT8TPLXB002M.html>

技能実習生への安全教育を行いました。

2025.08.20

弊社では、建設現場に入場する前に必ず安全教育を実施しております。今回は、ベトナム出身の技能実習生に対して、母国語であるベトナム語による安全教育動画を活用し、理解を深めてもらう取り組みを行いました。

安全教育は現場での事故防止のために欠かせない重要な取り組みです。特に外国人実習生にとって、言語の壁を越えて正しく理解してもらうことが、安全で円滑な作業につながります。今後も弊社では、技能実習生を含めたすべての社員が安心して働ける環境づくりに努めてまいります。



出典：<https://www.dai-kk.co.jp/news/20250820.html>

鉄材の下敷きになり死亡、クレーンでつり上げ 作業中 技能実習生のインドネシア国籍男性

2025.07.30

29日午後2時35分ごろ、香川県三豊市三野町下高瀬の増田鉄工所三豊工場から「事故があつてけがをしている」と110番があつた。香川県警三豊署によると、クレーンで鉄材をつり上げていたインドネシア国籍の特定技能実習生、ムハammad・ロムドニさん（29）＝同市高瀬町＝が鉄材の下敷きになり頭を強く打った。病院に搬送されたが、30日朝に死亡が確認された。



【小濱道博】住宅問題の解消が共生の試金石 外国人介護人材の定着に向けた課題と希望の芽

2025.08.04

川県が今年度に創設した「海外人材確保強化事業」は、送り出しから定着までを包括的に支援するモデルとして注目を集めている。同県は特にフィリピンを主たる送り出し国に選定。相手の政府機関であるDMW（Department of Migrant Workers）から認証を得た送り出し機関の連合体と、香川県の中企業団体中央会とがMOUを締結し、県の監理団体や登録支援機関とのマッチングを進めている。また、県が介護の専門学校と提携して日本語講座を開設、フィリピンの介護資格を持つ人材の更なる育成を進めている。



《小濱介護経営事務所 | 小濱道博代表》

出典：<https://www.joint-kaigo.com/articles/39690/>